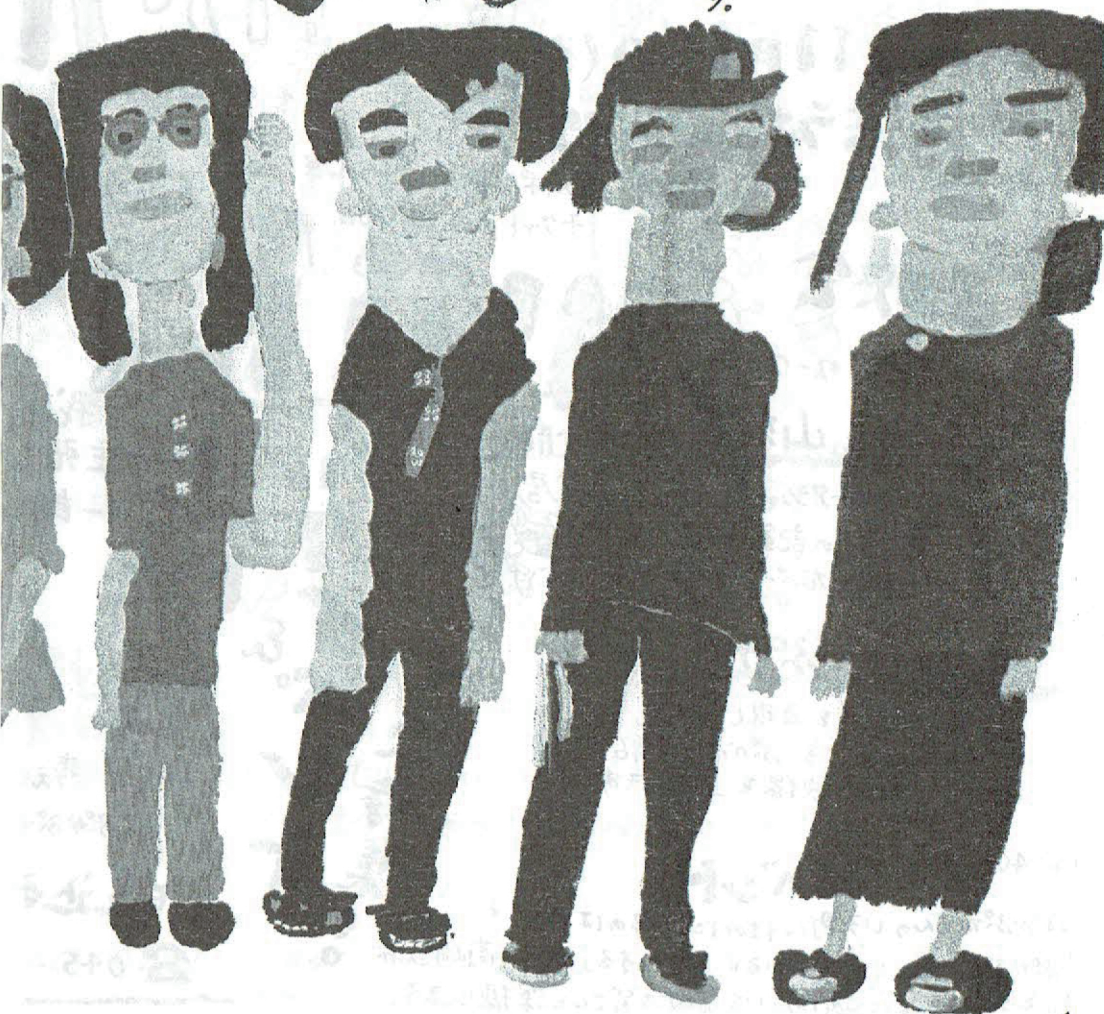


2020年

11月号

しんぶん ぶんか

[illegible]

11:30~

でんぱた米祭

@シアター 前ホワイエにて

ふかふかの新事業所「でんぱた」でつくった
はじめてのお米を販売します。お米の品種は
「みずほの輝き」です。無農薬で手間暇
かけてつくりました。新米の収穫をお祝いしよう!



でんぱた米 1kg 550円

他にもふかふかのおいしい食べ物や
楽しいグッズをご用意しています。

2020年11月14日(土) 11:30~

横浜ラポールシアターにて

入場料 だんぱた新米付チケット ¥1,000
チケットのみ ¥700

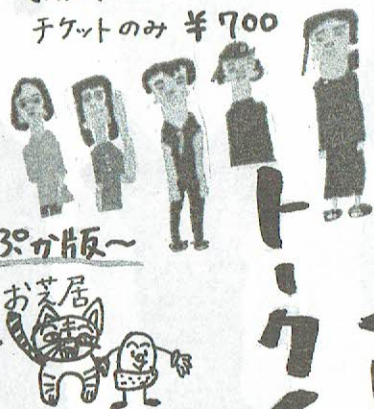
13:00~

上映会

第6期 演劇ワークショップ

どんぐりと山猫 ~ふかふか版~

昨年度の演劇ワークショップでつくったお茶居
「どんぐりと山猫」の記録映画です。
お話のあらすじは右ページをチェック!



感じてふかふか

何を感じて、何を表現したか...
外部の団体によるふかふかを紹介して
くださった短編映像を上映します。

14:40~ トークイベント

ふかふかさんのいる町に住みたくなるのはなぜ?
「ふかふかさんといっしょにいるとトクをする」代表の高崎さんが
伝えるこの言葉にこめた思いをゲストの皆さんと深掘りします。



コロナの影響でイベントが
中止となる中、やむを得ず
開催できることになりました。
感謝の気持ちをお伝えし
てお祝いします。
大集合! 会にみんな

ラポール

ふかふか

か

か

か

か

か

か

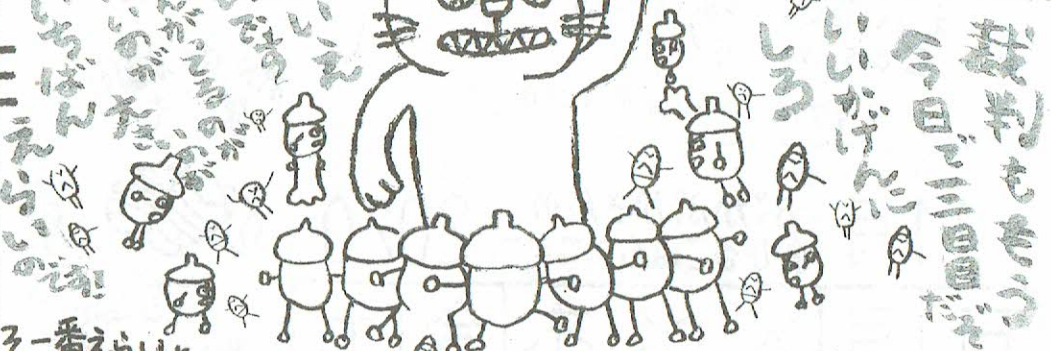
か

どんぐりと山猫ってどんな話?

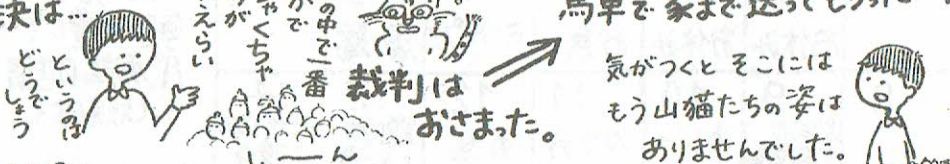
今回の目玉上映作品 第6期演劇ワークショップでとりあげた

「どんぐりと山猫」(作・宮沢賢治)のあらすじをおさらい!

一郎のもとに手紙が ⇒ 山猫に会いに ⇒ 山猫とその家来に出会



そー一番えらいと
するどんぐりたち...
の判決は...
おれのどんぐりをもらい、
馬車で家まで送ってもらった一郎。



演劇WSでは...

登場人物の気持ちを考えたり、どんなどんぐりが一番えらいのか
を考えたり、歌ったり、踊ったり、転げまわったりしながら どんぐりと山猫
~ふかふか版~ ができました。記録映画でぜひその様子をのぞいてください。

お申し込み

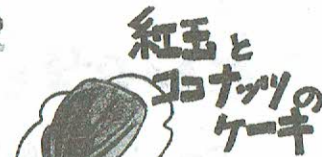
☎ 045 - 923-0282 (アート屋わんど) ✉ info@pukapuka.or.jp



11月のおすすめ

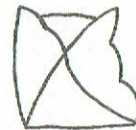
おひるごはんのご予約は こちら
☎ 045-922-6775

ランチ ¥770 おいしいお茶 ¥250



紅茶の甘酸
ぱさ美味い!!

カボチャの
サモサ
カボチャとツナの
ハーモニがバツグン!!



ぷかぷか農園の
里いも



里いもの収穫の
時期です。これから
毎日収穫して
パン屋さんの店頭
にて販売します。



PukaPukaNoven

パン屋さんの アップルパイ



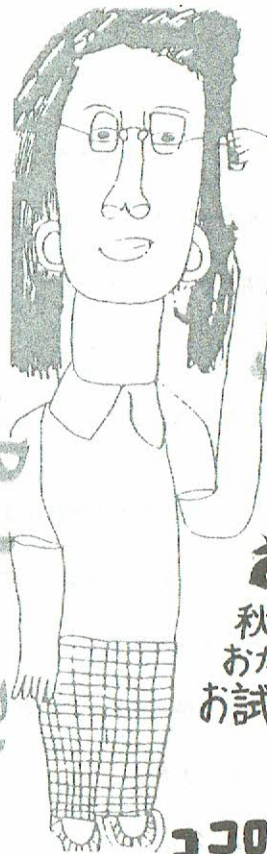
甘酸っぱいジャムが
自家製パイ化とも合います。



本日のバトン

Bakery PukaRuko

フランス生地に旬の果物や
つぶどう、くるみなどを
入れて焼きます。
日替わりなので何が並ぶか
お楽しみに... バトンは フランス語で
杖 又は棒だそうです。



Okashikobo Nijiryo



マロン
チーズケーキ



パンプキン
ガレット

おいも DE
フッキー



アップルティー
パウンド



おいしい秋みつけた!

秋の旬を味わう
おかしたちをぜひ
お試しください。

ココはずむア展 がやってくる!

会期 11/11 (水)~11/27 (金)

アート屋
わんどにて

10:00~17:00
(最終日は15:00まで)

緑区・青葉区・都筑区の福祉施設に
よる合同のアート展です。90点近い作品
が集まります。

ココはず報告会 作家を語る・作家が語る

11/14 (土) 15:00~16:30

アート屋わんどにて

お申し込み 045-923-0282

施設職員と作家自身が アート制作や
ふだんの生活などを語り、作家の人柄に迫ります。

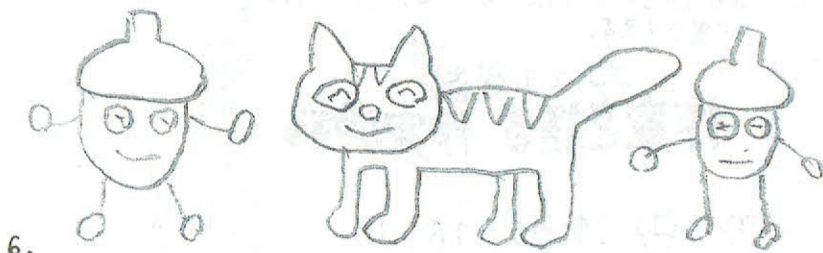


File ya Mando

『どんぐりと山猫-ぶかぶか版』は、障がいのある人たちに「こうしなさい、あしなさい」といろいろ教えながら作った芝居ではなく、彼らに支えられながら作った芝居の記録映画です。彼らがいることで、ワークショップの場が、とても楽しく、自由になります。彼らに助けられているのです。そういう場で、とんでもなくおもしろい芝居ができあがります。

やまゆり園の事件の時、社会にばらまかれた「障害者はいない方がいい」とか「障害者は不幸しか生まない」といった言葉を、あーだこーだ理屈を言わずに、ひょいと乗り越えてしまう舞台です。それって、すごいことじゃないかと思うのです。これが彼らがいっしょにいることで生まれるチカラです。ひょいと乗り越えてしまうチカラ。

事件を乗り越える、障がいのある人たちを排除しない社会を作る、というのは、こんな風に障がいのある人たちと一緒に楽しいことをやり、新しいものを創り出し、彼らといっしょにいたいなあって思うことです。彼らを社会から排除するなんて、もったいないことです。社会の損失です。



6.

NPO法人 ぶかぶか

045-453-8511

ぶかぶか パン

検索

<http://www.pukapuka.or.jp/>

